

このメールは当協会会員に登録されている方、当協会職員と名刺交換いただいた方、当協会主催の事業にご参加された方に配信しております。
今後配信を希望されない方は、お手数ですが[メール配信の停止]より配信停止の手続きをお願い申し上げます。

<目次>

▼最近の動向から▼

第137回 「危機管理」

▼タイ国政府商務省輸出振興局からのお知らせ▼

「第8回タイ国物流フェア 2011(TILOG2011)」出展企業募集のご案内

▼講座・セミナー・研究会▼

【01】～物流センターから仕掛ける抜本的な収益改善～

「物流ABCによるコストの徹底削減基礎セミナー(大阪開催)」受講申込受付中

【02】～ロジスティクス復興支援セミナー(JILS 会員無料)～

「物流施設の減災対策と今後の課題」

<<配信停止、変更の手続きは末尾をご参照ください>>

▼最近の動向から▼

★

■最近の動向から(第137回)■

>>危機管理<<

★

ここでは、JILS 総合研究所の調査研究、標準化活動や各種委員会動向等から、最近のホットな話題を適宜ピックアップして配信致します。

大災害が発生する度に、事業継続計画(BCP: Business Continuity Plan)や事業継続マネジメント(BCM)の必要性が指摘されています(このメルマガでも紹介しました)。BCPは、予防・予測による影響の緩和方策、危険の検知、対応・応急措置、復旧から構成され、災害発生時の初動対策としての対策本部設置に始まり、業務再開、業務回復、全面復旧までの活動内容、対策本部での会議システム、通信、ホワイトボード等の備品、連絡網、資料類、電源、生活物資の準備や後方支援、業務対策、情報システム、人事、広報等の役割分担等を作成します。

東日本大震災でBCPが機能した事例も紹介されていますが「使えるBCP」でなかったとか、機能しなかった報告も数多く報道されています。さらに、予知可能なリスクマネジメントが、先例や前例をもとに準備し、マイナスの影響を防ぎ、十分なリードタイムを有しているのに対して、予測不能で「想定外」の事態に直面した際の危機管理(クライシスマネジメント)の必要性も指摘されています。

携帯電話が通じない、現場の状況が把握できない、原発事故で放射線汚染が問題になった、給油不能、輸送不能といった状況は、ある意味では「想定可能」ですが、状況や被害の深刻さ、影響範囲の広さを含めて代替手段もなく右往左往する状況が今回も見られました。

このため、リスクマネジメントと共に、クライシスマネジメントも必要とされています。災害時や非常時に対応する「計画」策定とともに、対応計画のない事態に直面した際の、指導者の決断、従業員の行動を支える考え方や責任・権限・法規則

との関係についても検討しておく必要があります。

危機管理では、「津々浦々、規模の大小を問わず」、「自助」「互助」「公助」が基本原則だそうです。携帯電話が通じない、応援がない時に何をなすべきか、何ができるかを考えておく必要があります。「後方支援」には現場に行く支援のほかに、後方でしかできない支援もたくさんあります。人も物も情報も限られた範囲での優先順位付けも重要です。被災地からの情報が入ってこなくても所要生活物資の量や種類は日常活動から推測することができます。「寝食を忘れて」継続的な支援はできませんので、適切な休憩・休息や家族との連絡、交替要員の確保も重要です。災害対策本部は、情報を集めてから行動する合議・決裁の場にははいけません。「会議のための会議」の場ではなく、タイムリーに決断し迅速に対応でき現場を支援できる司令塔とするためノウハウも合わせて検討しておく必要があります。こういったノウハウは、原義としてのロジスティクスのノウハウと共通です。

参考文献：佐々淳行「危機管理」、公務員研修双書、ぎょうせい刊（1997年初版、2006年第17版）

【問合せ先】JILS 総研 吉本 yoshimoto@logistics.or.jp

▼タイ国政府商務省輸出振興局からのお知らせ▼

「第8回タイ国物流フェア 2011(TILOG2011)」出展企業募集のご案内

★-----
■「第8回タイ国物流フェア 2011(TILOG2011)」出展企業募集のご案内■
★-----

タイ国政府商務省輸出振興局では、タイ国荷主協議会（TNSC）、有害物質物流協会（HASLA）の共催を得て、「第8回タイ国物流フェア（TILOG2011）」を9月22日～25日まで、バンコク郊外にあるバンコク国際貿易展示場（BITEC）にて開催することになりました。本フェアでは、「アセアン物流ネットワーク～世界のゲートウェイへ」をテーマに、東南アジアの物流中心拠点としてタイ国を位置づけることを目的とし、タイ国にてご提供できる貿易関連サービス、物流サービスについて一堂にご覧いただけます。

現在、出展企業をタイ国外からも募集しております。出展のお申込み・お問い合わせについては、6月24日（金）までに下記タイ国大使館商務参事官事務所までご連絡ください。

詳細は下記オフィシャルサイトにてご案内いたしております。（英語）

<http://www.thaitradefair.com/2011/logis/>

なお、応募者多数の場合は抽選となりますので、あらかじめご了承ください。

【出展のお申し込み・お問合せ先】

タイ国大使館商務参事官事務所 担当：岡野・松木
〒102-0083 東京都千代田区麹町5-4 セタニビル6F
Tel: 03-3221-9482 Fax: 03-3221-9484
E-mail: thaitctokyo@thaitrade.jp（代表）

▼講座・セミナー・研究会▼

★-----
～物流センターから仕掛ける抜本的な収益改善～
■物流ABCによるコストの徹底削減基礎セミナー（大阪開催）■
★-----
物流センターで発生するコストの中には、他部門や顧客起因のものも少なくありません。それらを把握できる形でコストデータを収集する方法が「物流ABC」です。本セミナーでは、「物流ABC」の具体的な算定方法や

分析・活用方法について講義と演習を通じて学んでいただきます。

【会 期】7月6日(水) 10:00~17:00

【参加料】JILS 会員 36,750 円 / JILS 会員外 52,500 円 (税込)

【講 師】内田 明美子 氏 (株)湯浅コンサルティング コンサルタント

【対 象】物流センターの管理者、コスト管理担当者

【問い合わせ先】関西支部 06-4797-2070

※プログラムの詳細とお申込方法は下記URLをご参照ください。

<http://www.logistics.or.jp/education/seminar/seminar.html#7>

★-----
~ロジスティクス復興支援セミナー (JILS 会員無料) ~
■「物流施設の減災対策と今後の課題」■

★-----
JILS では、会員および産業界に対し、ロジスティクスの視点から復興支援のためのセミナーを開催いたします。

前回 (4/26) は「ICT 活用の実例と今後の活用方法」として、輸配送分野を中心に情報提供させていただきました。今回は「物流施設」に焦点をあてた「物流施設の被災状況と今後の減災対策」について、情報提供させていただきます。

物流関連の被災の中でも、地震等による荷崩れや荷物の破損による多大な損害が発生しており、復旧作業にも多くの労力を必要としています。それにより、被災額や取引先等の対外的にも影響の大きかった物流施設、特にいまでも復旧中の施設があり、今後の活用方法の見直しも行われ始めている、自動倉庫を中心としたマテハン機器についての被災状況と今後の対策、また、物流センター・倉庫等の施設全体での免震対策の有無による被災状況の違いと今後の対策についてご提案いたします。

【日 時】2011 年 6 月 10 日 (金) 13:30~16:40 ※開場 13:10

【会 場】芝パークホテル 別館 2 F ローズルーム (東京都港区芝公園 1-5-10)

【参加料】JILS 会員 無料 / JILS 会員外 5,250 円 (税込)

- 【内 容】 1) 「物流施設の減災と復興支援のために今、必要なこと」 / JILS
2) 「自動倉庫を中としたマテハン機器の震災・節電に関する対策 (予定)」
 / 村田機械 (株)・オークラ輸送機 (株)
3) 「東日本大震災と物流倉庫免震技術」 / 鹿島建設 (株)

【問合先】顧客サービス部 TEL. 03-5484-4021 email:customer@logistics.or.jp

※プログラムの詳細とお申込方法は下記URLをご参照ください。

http://www.logistics.or.jp/info/center/center_index.html

■-----
発行：公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会
〒105-0014 東京都港区芝 2-28-8 芝 2 丁目ビル 3F
TEL 03-5484-4021 FAX03-5484-4031
<http://www.logistics.or.jp/>
